



平成24年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月6日

上場会社名 日本メディカルネットコミュニケーションズ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3645 URL <http://www.japan-medical.com/>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)早川 亮  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部ゼネラルマネージャー (氏名)平川 裕司 (TEL)03(5790)5261  
 四半期報告書提出予定日 平成24年1月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年5月期第2四半期の連結業績 (平成23年6月1日～平成23年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年5月期第2四半期	524	—	98	—	98	—	56	—
23年5月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 24年5月期第2四半期 55百万円(—%) 23年5月期第2四半期 一百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年5月期第2四半期	12.01	10.48
23年5月期第2四半期	—	—

(注) 当社は、平成24年5月期第2四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成23年5月期第2四半期の記載及び平成24年5月期第2四半期の対前年同四半期増減率の記載をしておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年5月期第2四半期	1,382	1,054	76.2
23年5月期	—	—	—

(参考) 自己資本 24年5月期第2四半期 1,052百万円 23年5月期 一百万円

(注) 当社は、平成24年5月期第2四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成23年5月期の記載をしておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年5月期	—	0.00	—	6.00	6.00
24年5月期	—	0.00	—	—	—
24年5月期(予想)	—	—	—	4.00	4.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 23年5月期の期末配当金の内訳 期末配当 4円00銭 記念配当 2円00銭

3. 平成24年5月期の連結業績予想 (平成23年6月1日～平成24年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,036	—	123	—	124	—	69	—	14.88

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2. 当社は、平成23年5月期においては、連結財務諸表を作成していないため、対前期増減率の記載をしておりません。

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 —社、除外 —社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	24年5月期2Q	4,692,000株	23年5月期	4,689,500株
② 期末自己株式数	24年5月期2Q	34株	23年5月期	34株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	24年5月期2Q	4,690,411株	23年5月期2Q	—株

#### ※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
2. 当社は、平成24年1月11日に機関投資家・アナリスト向けの第2四半期決算説明会を開催する予定です。当日使用する第2四半期決算説明資料は、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。
3. 当社では、個人投資家の皆様向けに、事業・業績に関する説明会を開催しています。
  - ・平成24年1月13日・・・個人投資家向け会社説明会 (東京)
  - ・平成24年1月18日・・・個人投資家向け会社説明会 (大阪)なお、詳細につきましては、当社ホームページをご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	4
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書 .....	7
四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) セグメント情報等 .....	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10
(7) 重要な後発事象 .....	10
4. 補足情報 .....	11
(1) 事業等のリスク .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、当第2四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期との対比は行っておりません。

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災による被害や景気悪化から緩やかに持ち直しつつあるものの、欧州諸国の債務問題や急激な円高の進行から、依然として厳しい状況にありました。このような経済情勢のもと、当社グループは、積極的な営業活動及びサービスの向上に努めましたが、東日本大震災後の景気低迷から特に自由診療歯科や美容・エステ分野は戻りが遅く、クライアントの広告費抑制の影響もあり低調に推移しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は524,524千円、営業利益は98,587千円、経常利益は98,677千円、四半期純利益は56,345千円となりました。

セグメントの業績及び概況は以下のとおりであります。

(単位：千円)

セグメントの名称	売上高	セグメント利益
ポータルサイト運営事業	271,126	176,776
SEM事業	182,829	28,968
その他	70,568	4,226

## ① ポータルサイト運営事業

ポータルサイト運営事業においては、「インプラントネット」、「矯正歯科ネット」、「審美歯科ネット」等のコンテンツの充実やトラフィックの向上に努めましたが、クライアントの広告費抑制の影響もありサービスの解約が増加し低調に推移しました。

## ② SEM事業

SEM事業においては、YAHOO! JAPANの検索エンジン変更後の不調やクライアントの広告費抑制の影響もありSEOサービスは低調に推移しました。また、リスティング広告運用代行サービスの取り扱いが増加したものの、これに伴い売上原価率が上昇しました。

## ③ その他

その他の事業においては、事業者向けホームページ制作・メンテナンス及び広告販売代理等を行っておりますが、広告販売代理は堅調だったものの、ホームページ制作の完成案件数が伸びずに低調に推移しました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、1,382,220千円となりました。

資産、負債及び純資産の状況は以下のとおりであります。

i 資産の部

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、1,215,973千円となりました。主な内訳は、現金及び預金817,617千円、売掛金195,831千円、前払費用169,118千円であります。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は、166,247千円となりました。主な内訳は、のれん73,165千円であります。

ii 負債の部

当第2四半期連結会計期間末における負債は、327,670千円となりました。主な内訳は、前受金209,471千円、未払法人税等38,704千円であります。

iii 純資産の部

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、1,054,550千円となりました。主な内訳は、資本金280,407千円、資本剰余金255,407千円、利益剰余金517,492千円であります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、717,617千円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と主な要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動により増加した資金は、55,740千円となりました。

主な収入の要因は、税金等調整前四半期純利益98,677千円、売上債権の減少額35,156千円に対し、主な支出の要因は、法人税等の支払額68,131千円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動により減少した資金は、150,291千円となりました。

これは、主に定期預金100,000千円の預入による支出、子会社株式50,000千円の取得による支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動により減少した資金は、28,513千円となりました。

これは、主に配当金の支払額27,929千円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社は、当第2四半期連結累計期間から連結決算を開始しております。連結業績予想に関する詳細につきましては、本日公表いたしました「連結決算開始に伴う連結業績予想の公表及び個別業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、当第2四半期連結累計期間より、当社の非連結子会社でありました株式会社ガイドデントの重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間 (平成23年11月30日)	
<b>資産の部</b>	
流動資産	
現金及び預金	817,617
売掛金	195,831
前払費用	169,118
その他	43,899
貸倒引当金	△10,493
流動資産合計	1,215,973
固定資産	
有形固定資産	4,425
無形固定資産	
のれん	73,165
その他	38,193
無形固定資産合計	111,358
投資その他の資産	
その他	57,726
貸倒引当金	△7,262
投資その他の資産合計	50,463
固定資産合計	166,247
資産合計	1,382,220
<b>負債の部</b>	
流動負債	
買掛金	4,113
前受金	209,471
未払法人税等	38,704
その他	69,150
流動負債合計	321,439
固定負債	
インプラント保証引当金	6,230
固定負債合計	6,230
負債合計	327,670

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間  
(平成23年11月30日)

純資産の部	
株主資本	
資本金	280,407
資本剰余金	255,407
利益剰余金	517,492
自己株式	△34
株主資本合計	1,053,272
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	△505
その他の包括利益累計額合計	△505
新株予約権	1,783
純資産合計	1,054,550
負債純資産合計	1,382,220

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年11月30日)
売上高	524,524
売上原価	255,393
売上総利益	269,130
販売費及び一般管理費	170,542
営業利益	98,587
営業外収益	
受取利息	85
雑収入	22
営業外収益合計	108
営業外費用	
支払利息	0
固定資産除却損	18
営業外費用合計	18
経常利益	98,677
税金等調整前四半期純利益	98,677
法人税、住民税及び事業税	37,087
法人税等調整額	5,243
法人税等合計	42,331
少数株主損益調整前四半期純利益	56,345
四半期純利益	56,345

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	56,345
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△455
その他の包括利益合計	△455
四半期包括利益	55,890
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	55,890
少数株主に係る四半期包括利益	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年11月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	98,677
減価償却費	10,030
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△8,630
受取利息及び受取配当金	△85
支払利息	0
売上債権の増減額(△は増加)	35,156
たな卸資産の増減額(△は増加)	△119
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,132
その他	△8,110
小計	123,786
利息及び配当金の受取額	85
法人税等の支払額	△68,131
その他	0
営業活動によるキャッシュ・フロー	55,740
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
定期預金の預入による支出	△100,000
無形固定資産の取得による支出	△291
子会社株式の取得による支出	△50,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△150,291
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
長期借入金の返済による支出	△750
株式の発行による収入	166
配当金の支払額	△27,929
財務活動によるキャッシュ・フロー	△28,513
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△123,065
現金及び現金同等物の期首残高	829,104
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	11,578
現金及び現金同等物の四半期末残高	717,617

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

## I 当第2四半期連結累計期間(自平成23年6月1日至平成23年11月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	合計
	ポータルサイト 運営事業	SEM事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	271,126	182,829	453,956	70,568	524,524
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	271,126	182,829	453,956	70,568	524,524
セグメント利益	176,776	28,968	205,745	4,226	209,971

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、事業者向けホームページ制作・メンテナンス事業及び販売代理事業等を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	205,745
「その他」の区分の利益	4,226
全社費用(注)	△111,383
四半期連結損益計算書の営業利益	98,587

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「その他」において、連結子会社である株式会社ガイドデントは、平成23年11月1日に会社分割によりインプラント保証事業を承継いたしました。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては、73,165千円であります。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## (7) 重要な後発事象

該当事項はありません。

#### 4. 補足情報

##### (1) 事業等のリスク

当第2四半期連結累計期間において、前事業年度の決算短信に記載した「事業等のリスク」について、以下の事項を追加いたしました。

##### ① M&Aについて

当社グループは、成長を加速するための有効な手段として歯科又は関連する分野の企業及び事業の買収を検討してまいります。

これに伴い、多額の資金需要が発生する可能性があるほか、のれん等の減損処理により当社グループの事業及び業績に影響を及ぼす可能性があります。

##### ② のれんの減損処理について

当社グループは、連結子会社である株式会社ガイドデントが会社分割によりインプラント保証事業を承継したことにより、当第2四半期連結会計期間末において、73,165千円ののれんを計上しております。

当社グループは、のれんについて、その効果の発現する期間を個別に見積り、20年以内の合理的な年数で均等償却しております。

しかしながら、経済状況や経営環境の著しい悪化等により収益性が低下した場合、のれんの減損損失の発生により当社グループの事業及び業績に影響を及ぼす可能性があります。